

研究実施のお知らせ

研究課題名

当院における嚥下機能スクリーニング検査の有用性に関する検討

研究の対象となる方

2020 年 4 月から 2022 年 12 月の間に当院において外来または入院で嚥下機能スクリーニング評価および嚥下造影検査を実施した患者さんが対象です。

研究の目的・意義

食えること、飲み込みことが困難になった患者さんに対し、最初に行う検査を摂食嚥下スクリーニング検査といいます。摂食嚥下スクリーニング検査は、検査自体の危険性が低く簡便に行える検査手法です。また、検査結果は、今後の経口摂取の可否、リハビリテーションの内容などを決定していく 1 つの指標となります。一方で詳しい検査と比較すると評価の精度には限界があります。今回の研究では、摂食嚥下スクリーニング検査の結果を詳しい検査である嚥下造影検査の結果と比較します。嚥下スクリーニング検査の評価精度や傾向を知ることで、リハビリテーションの質的向上に生かしていきたいと考えています。

研究の方法

データの収集

研究対象者のカルテから次のデータを収集します。

年齢、性別、身長、体重、摂食嚥下スクリーニング検査、嚥下造影検査、病名、検査データ(血液、画像)、栄養状態、認知機能

個人情報の取り扱いについて

収集したデータは、大田市立病院の外部から容易にアクセスできないパソコンに保管します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表することを予定しています。

研究対象者の利益・不利益について

この研究は過去の診療録の記録から関連する情報を集めるものであり、研究によって個人の不利益や危険性が生じることはありません。また、新たな負担は一切ありません。

研究の期間

2023 年 3 月～2023 年 12 月

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

たとえ研究にご協力いただけなくても、今後の診療など医療サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることは一切ありません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の研究責任者にご連絡ください。

研究責任者：

大田市立病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 言語聴覚士 今若哲也
電話 0854-82-0330(代表番号)